

ハーレーⅡ[®] JE 取扱説明書（保証書付）

重要

ご使用になる前に必ずお読みください。

この度は、ハーレーⅡをお求めいただき、誠にありがとうございます。

ハーレーⅡは自分でお手入れして、長く使用できる浄水器です。

必ずご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、

大切に保管してください。

もくじ

ご使用いただく前に

- ▶安全上のご注意……………p.1～p.2
- ▶付属品の確認……………p.3

取り付け手順

- ▶組み立てガイド……………p.4
- ▶取り付けガイド……………p.5～p.12

ご使用方法

- ▶洗浄殺菌(バックウォッシュ)の3つの目的……………p.13
- ▶洗浄殺菌(バックウォッシュ)の方法……………p.14～p.15
- ▶洗浄殺菌(バックウォッシュ)の方法 応用編……………p.16
- ▶洗浄殺菌(バックウォッシュ)後の使い方……………p.16
- ▶緊急時に水道水以外の水を
浄水する場合……………p.17

困ったときなど

- ▶お手入れ方法・ろ材交換品について……………p.18
- ▶「故障かな？」と思ったら……………p.19
- ▶S コック修理方法……………p.20

必要なとき

- ▶別売部品一覧・本体仕様……………p.21

長期間の不在や転居の際、 ご確認ください

長期間の不在や転居等でハーレーⅡ
本体から水を抜いた状態で放置する期間
がある際、使用できなくなる場合があり
ますので、p.2右部の「通水しない状態で
長期間(1ヶ月程度)放置しない」とp.18
の「お手入れ方法」をご確認ください。

安全上のご注意

この取扱説明書には、ハーレーⅡを安全にお使いいただくために次のような表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。基本的に「禁止」「確認」になっている事を無視した場合は、保証の対象外となる場合がございますのでご注意ください。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

図記号の例



禁止

してはいけない「禁止」内容を示しています。



高温注意

火傷などのケガに「注意」する内容を示しています。



確認

必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



警告

井戸水やわき水など水質基準に不適合な水を通水しない

塩分、重金属、細菌、固形浮遊物の除去はできません。水質基準に不適合な水を飲用すると健康を害する恐れがあります。



火気の近くや高温になる所では使用しない

本体が熱くなり破損したり、火傷などケガの恐れがあります。



浄水を汲み置きしない

浄水された水には、塩素が含まれていないため、雑菌が繁殖する恐れがあります。



小型瞬間湯沸器で洗浄殺菌(バックウォッシュ)する場合は、十分に換気を行う



洗浄殺菌(バックウォッシュ)中は、その場を離れず取扱説明書に従い行う

万一、Sカプリングが外れた場合、お湯が飛散し、火傷などケガの恐れがあります。また、フィルターが目詰まりが原因でホースが膨張する場合がありますので、直ちに中止してください。



洗浄殺菌(バックウォッシュ)中および直後は、本体や部品に触れない

熱くなっているので、火傷の恐れがあります。



洗浄殺菌(バックウォッシュ)は75℃以上の熱いお湯で行わない

下水配管を損傷する恐れがあります。





警告

水圧が高く、水量の多い地域は、水量調節の際、最大水量で使用しない

洗浄殺菌（バックウォッシュ）のお湯の量は、最大水量で行わない

水量が多すぎると、過度の水圧がかかり、本体の破損・故障の原因となる場合があります。



ご使用いただく前に



注意

約40℃以上のお湯は飲用には適しません

料理などでお湯が必要な場合は、ハーレーⅡの水を沸かして使用してください。



不安定な場所に置かない

安定した平らな場所に置いてください。落下した場合、ケガや本体の破損・水漏れする恐れがあります。



Sスパウトのパイプ部分を持って上下に動かさない。

落下によるケガや本体の破損・水漏れする恐れがあります。



不適切な取り付け・修理・改造をしない

故障や水漏れの原因となります。



赤サビなどの固形浮遊物が多い水の場合は、専用のプレフィルター（別売）が必要です

赤サビなどをそのまま通水すると、目詰まりし、水漏れする恐れがあります。赤サビなどの固形浮遊物が多い場合は、専用のプレフィルター（別売）が必要です。詳しくは弊社までお問い合わせください。



通水しない状態で長期間（1ヶ月程度）放置しない

本体から水を抜いた状態で放置すると、活性炭が乾燥し固まり、使用できなくなります。（保管方法p.18参照）また、数日間使用しなかった場合も使用前に洗浄殺菌（バックウォッシュ）してください。



水道工事や給湯設備工事などを行った場合は、水道水を十分に流してから使用する

水道水に固形物や臭いなどが混入することがありますので、ハーレーⅡ本体にすぐ通水せず、水道水を十分に流してからお使いください。



凍結させない

本体が破損し、水漏れする恐れがあります。



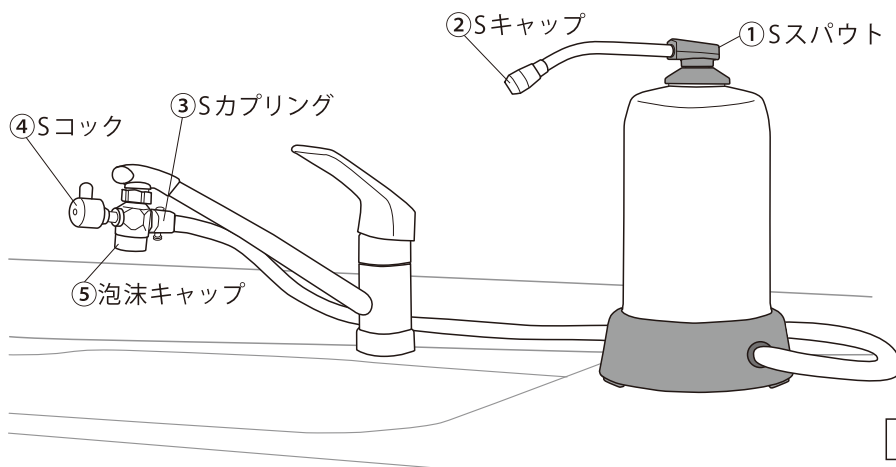
石灰分の多い硬水地区には適しません

カルシウムの付着により目詰まりの恐れがあります。

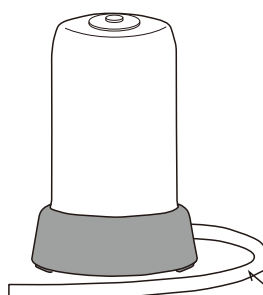


付属品の確認（本体をしっかり持って箱から取り出してください）

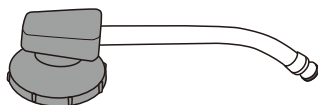
下記の付属品（①～⑩）がすべて入っているかお確かめください



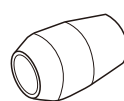
ハーレーⅡ 本体



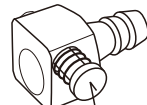
① Sスパウト



② Sキャップ



③ Sカプリング

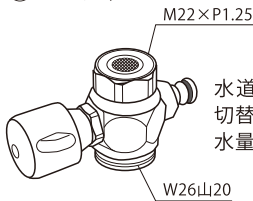


スピンドル

本体ホース（シリコン製）

蛇口取付品

④ Sコック



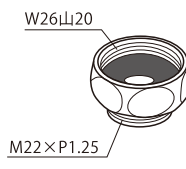
水道水と浄水を切替え、水量調整を行う

⑤ 泡沫キャップ



水の飛沫を防ぐ部品

⑥ 根元用アダプター（蛇口サイズ13mm）

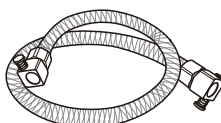


蛇口の根元にSコックを付ける時のアダプター

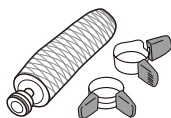
その他付属品

⑦ Sバックウォッシュホース

洗浄殺菌（バックウォッシュ）する時に使用



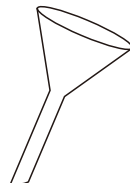
⑧ Sエクストラアダプター



小型瞬間湯沸器用アダプターとして使用（p.15参照）。

緊急時に水道水以外の水を浄水する場合に使用（p.17参照）

⑨ ろうと



緊急時に水道水以外の水を浄水する場合に使用（p.17参照）

予備

⑩ Oリング（中） 8個



Sコック・Sスパウトに使われるリング

水漏れの症状が発生した際に必要となりますので、大切に保管してください。交換方法は p.19、p.20 を参照してください。

● 付属の部品は日本の水栓に合わせたオリジナル純正部品のため大切にお取り扱いください。また、使用していない部品も転居・台所リフォームなどで、水栓や蛇口の口径が変更になった際、必要になる場合がありますので本書と一緒に保管してください。部品が経年劣化などした場合は、個別にご購入いただくことができます。

組み立てガイド

①本体にSスパウトとSキャップを取り付けます

本体上部の赤いキャップを外してください。



Sスパウトを本体と平行になるように、まっすぐ丁寧にしっかりと締めてください。



Sスパウトのパイプ部を手でおさえながら、Sスパウトの先端にSキャップを差し込みます。



②本体ホースにSカプリングを取り付けます

本体ホースについている赤いキャップを外してください。



ホースにSカプリングを差し込みます。

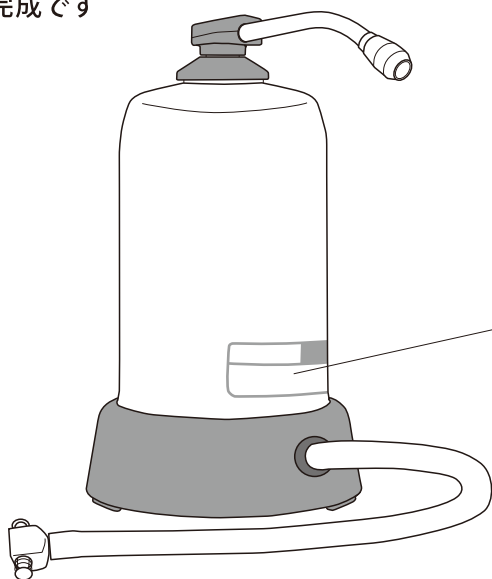


※Sカプリングを少し水にぬらすと入りやすくなります。

Sカプリングの差し込み部分が見えなくなるまで押し込みます。



③完成です



本体についているシールに購入年月日から7年後の年月(ろ材交換時期の目安)を記入してください。

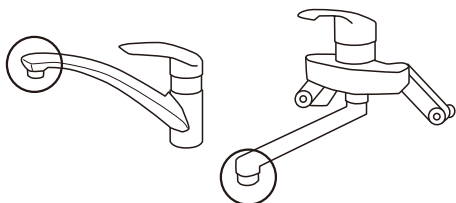
本書裏面に保証書が付いていますので、製品外箱の保証番号シールまたはハーレーII保証登録書に記載されている保証番号を保証書に記入してください。

1. S コックを水栓に取り付けます

あなたのお宅の水栓はどのタイプですか？

A ~ **D** の該当ページを参照ください。

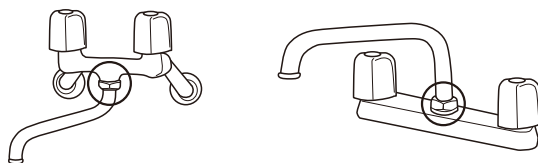
■シングルレバータイプ **A** → p.6 へ



■2バルブタイプ

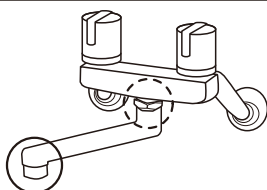
先端に泡沫キャップがない場合
根元取り付け

B -1 → p.7 へ



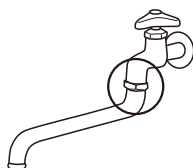
先端に泡沫キャップがある場合
先端取り付け

B -2 → p.8 へ



※先端に泡沫キャップがある場合でも
根元取り付けは可能です。

■単水栓タイプ **C** → p.9 へ

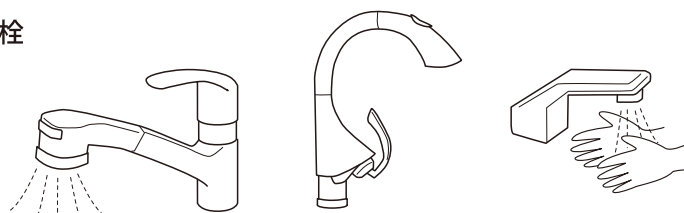


■その他 **D** → p.10 へ

シャワー水栓

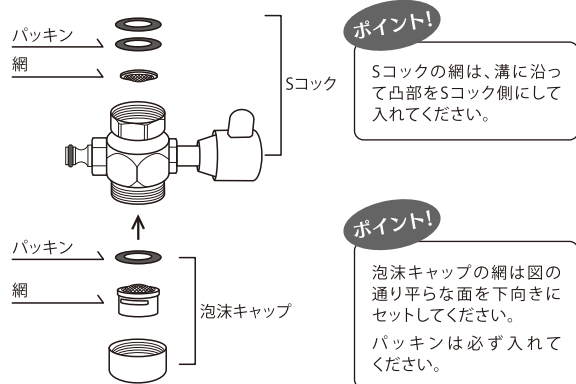
デザイン性を重視した水栓

センサー式水栓

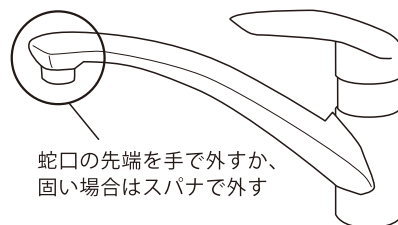


A シングルレバー水栓への取付方法

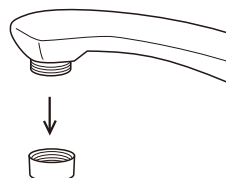
① Sコックの組立方法



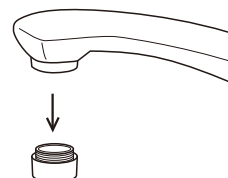
② 先端の泡沫キャップを外す



<先端が外ネジの場合>

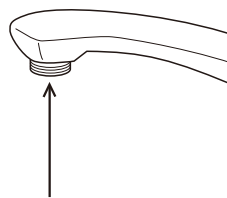


<先端が内ネジの場合>

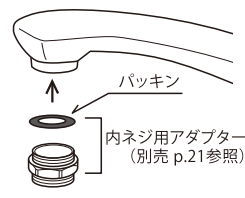


③ Sコックを取り付ける

※直接取り付けできない場合は外ネジ用アダプターが必要です。(別売 p.21参照)



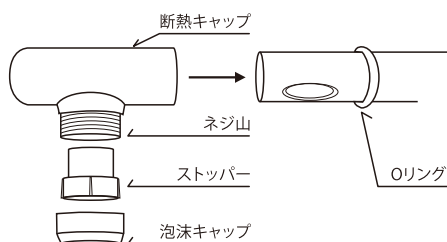
③ 内ネジ用アダプター (別売 p.21参照) と Sコックを取り付ける



ポイント! 断熱キャップの交換方法

プラスチック部品が破損している場合は交換してください。水栓メーカー・種類により異なりますので、メーカーにお問い合わせの上、取り寄せてください。また、予備を持たれる事をお薦めします。

<断熱キャップの交換方法例>



- ① 泡沫キャップを外す。
- ② 内側のストッパーを引き抜く。
- ③ 断熱キャップを外す。
- ④ 断熱キャップに付属している新しい Oリングと交換する。
- ⑤ 新しい断熱キャップを取り付ける。

泡沫キャップを外し、内側に入っているストッパーを引き抜くと外れます。種類によってはネジを止めるものもありますので、詳しくは水栓メーカーにお問い合わせください。

注意!

蛇口の先端に断熱キャップがついているタイプの水栓に Sコックを取り付ける場合は、ストッパーを外さずに取り付けてください。ストッパーを泡沫キャップと一緒に外したまま Sコックを取り付けると、断熱キャップが外れて危険です。

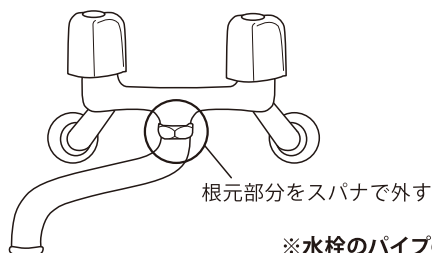
ポイント!

Sコックにはパッキンの厚みの違うものが2枚入っています。ネジ山に合わせて枚数を調整してください。

B-1 2バルブ水栓への根元取付方法

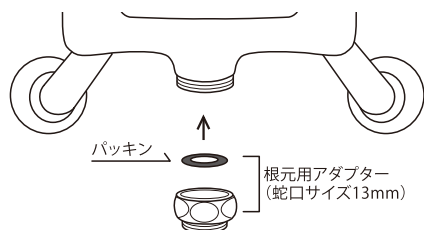
<S字型パイプ>

① 水栓のパイプを外す

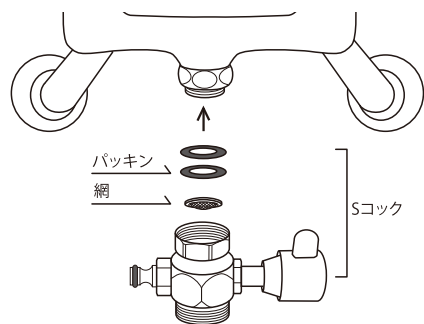


※水栓のパイプの中にU字型パッキンが残っていないか確認し、外しておいてください。(p.8下部ポイント参照)

② 根元用アダプター(蛇口サイズ 13mm)を蛇口に取り付ける



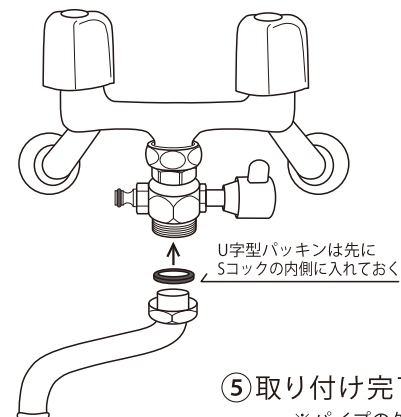
③ 根元用アダプター(蛇口サイズ 13mm)にSコックを取り付ける



ポイント!

Sコックの網は、溝に沿って凸部をSコック側にして入れてください。

④ 外したパイプを取り付ける

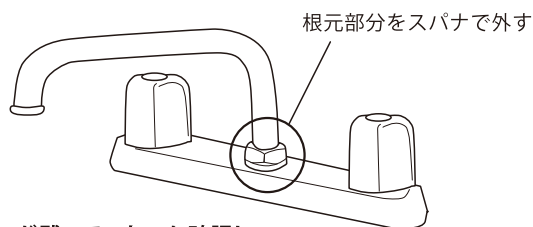


⑤ 取り付け完了後、接続部をスパナで締めてください。

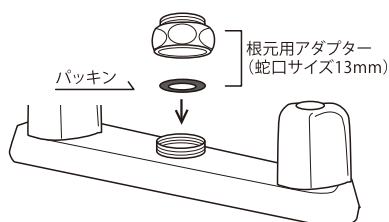
※パイプの外し方、パッキンの確認方法はp.8のポイント参照

<コの字型パイプ>

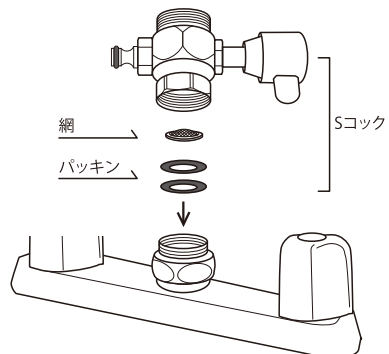
① 水栓のパイプを外す



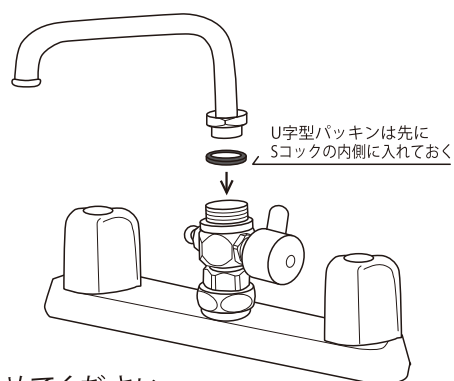
② 根元用アダプター(蛇口サイズ 13mm)を蛇口に取り付ける



③ 根元用アダプター(蛇口サイズ 13mm)にSコックを取り付ける



④ 外したパイプを取り付ける



<蛇口サイズ 20mmの場合>

根元用アダプター(蛇口サイズ20mm)(別売 p.21参照)とS字型パイプ(蛇口サイズ13mm)(市販品)が必要です。

- ① 水栓のパイプを外す
- ② 根元用アダプター(蛇口サイズ20mm)を蛇口に取り付ける

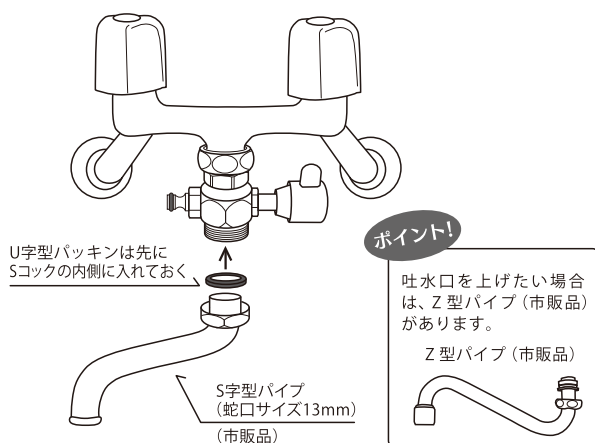
取付方法 p.7<S字型パイプ>②参照



- ③ 根元用アダプター(蛇口サイズ 20mm)にSコックを取り付ける

取付方法 p.7<S字型パイプ>③参照

- ④ 市販品のS字パイプを取り付ける



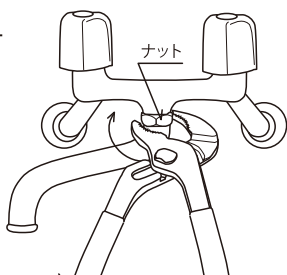
※蛇口を現状復帰する必要がある場合、取り外したパイプは保管してください。

- ⑤ 取り付け完了後、接続部をスパナで締めてください。

ポイント! パイプの外し方

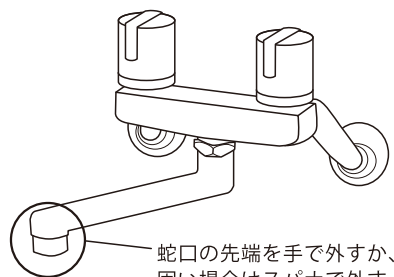
水を止めてから、工具(スパナなど)で根元のナットをゆるめ、パイプを水栓から外します。

スパナまたはブライヤー

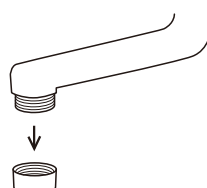


B-2 2バルブ水栓への先端取付方法

- ① Sコックの組立方法 (p.6①参照)
- ② 蛇口先端の泡沫キャップを外す



<先端が外ネジの場合>



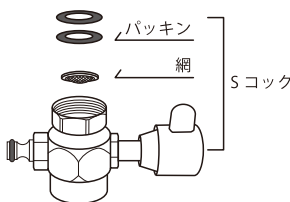
- ③ Sコックを取り付ける

※直接取り付けできない場合は外ネジ用アダプターが必要です。(別売 p.21参照)

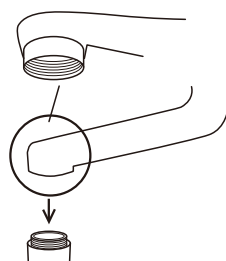


ポイント!

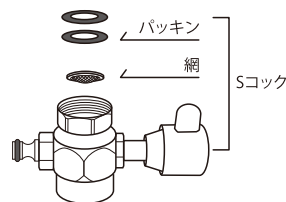
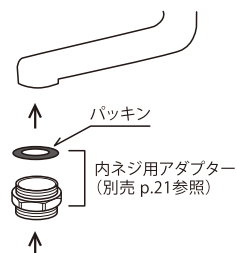
Sコックにはパッキンの厚みの違うものが2枚入っています。ネジ山に合わせて枚数を調整してください。



<先端が内ネジの場合>



- ③ 内ネジ用アダプター(別売 p.21参照)とSコックを取り付ける

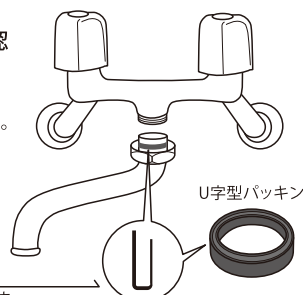


ポイント! パッキンの確認

パイプには、水漏れしないようにパッキンがついています。水栓から外した時、パイプにパッキンがついているか必ず確認してください。残っている場合は、外してください。

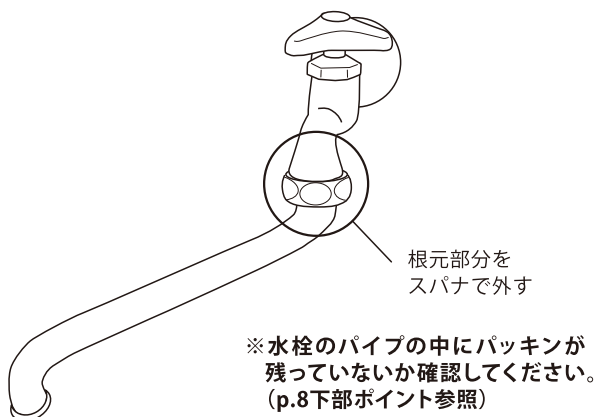
U字型パッキンの断面図

※平らなパッキンの場合もあります。

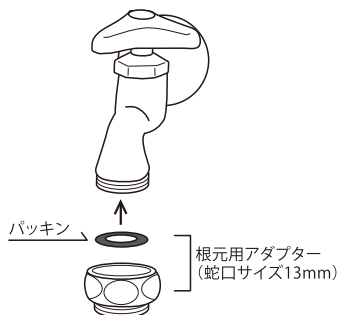


C 単水栓への取付方法

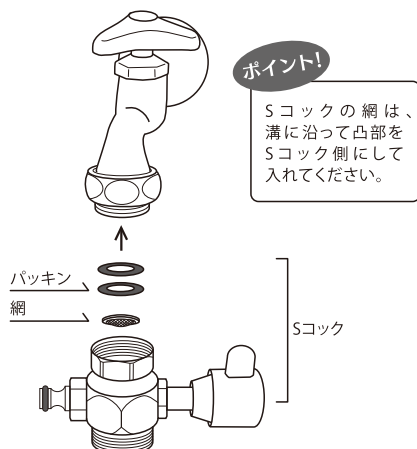
①水栓のパイプを外す



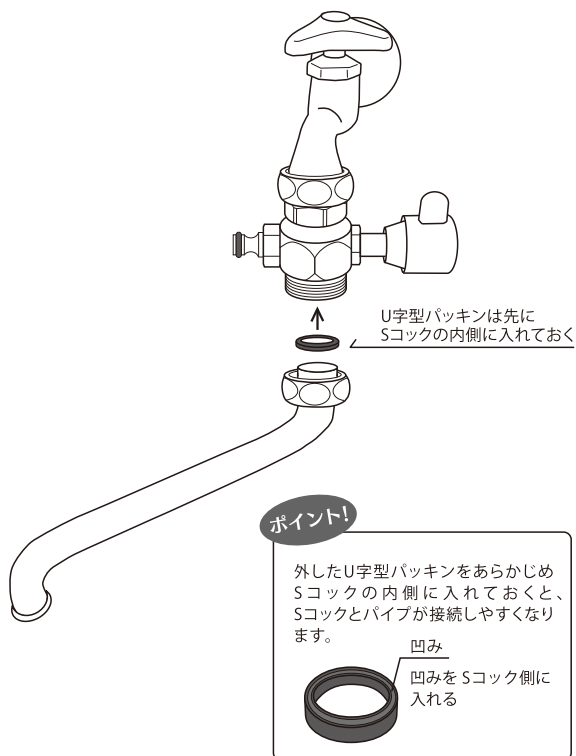
②根元用アダプター (蛇口サイズ 13mm) を蛇口に取り付ける



③根元用アダプター (蛇口サイズ 13mm) に S コックを取り付ける



④外したパイプを取り付ける



⑤取り付け完了後、接続部をスパナで締めてください。

※パイプの外し方、パッキンの確認方法はp.8下部ポイント参照。

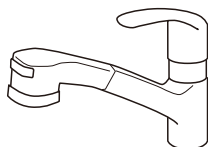
※先端に泡沫キャップがついている水栓の場合は、先端取付も可能です。詳しくはp.8 B-2 2バルブ水栓への先端取付方法を参照してください。

D その他の水栓への取付方法

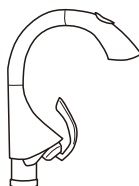
以下のタイプの水栓は、浄水器を取り付けることができません。別途工事が必要となりますので、水道施工会社へご依頼ください。

部品についての詳細は、フリーダイヤル 0120-132-802 までお問い合わせください。

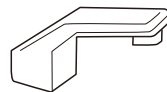
シャワー水栓



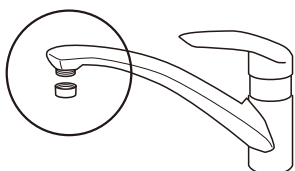
デザイン性を重視した水栓



センサー式水栓



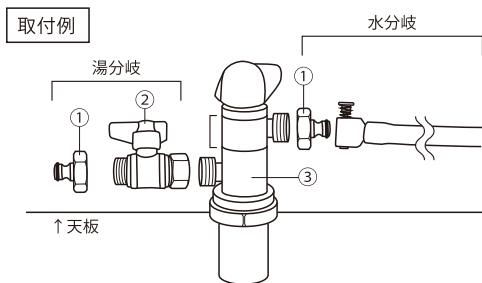
①ハーレーⅡが取り付けられる水栓に交換する方法



蛇口先端にSコックを取り付けるので、先端が外ネジ (M22×P1.25) の水栓をお薦めします。

→ハーレーⅡ用Sコックの取付方法は、p.6のシングルレバー水栓への取付方法を参照してください。

②ハーレーⅡ専用の水栓を増設する方法



- ①SHDアダプター (G1/2) × 2個 (別売 p.21参照) ②分水孔コック
③2方向分岐立形専用水栓 (湯・水) 水生活製作所 型番:BP205TSY

現在お使いの水栓以外に専用水栓を増設する場合は、湯水分岐付水栓を立ち上げ、分水孔コックを取り付ける方法があります。

ハーレーⅡはお湯で洗浄を行ないますので、湯水が出る混合栓を設置することをお薦めいたします。

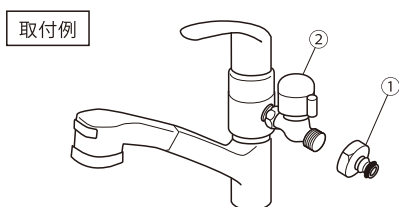
(SHDアダプター (別売 p.21参照) が必要となります。)

注意!

毎分6ℓを超える水圧がかかるとハーレーⅡ本体底部より水漏れの原因になる可能性があります。必ず水圧調整をお願いします。

※水圧が原因でハーレーⅡ本体底部より水漏れした場合は保証対象外となります。

③お使いのシャワー水栓に浄水器用分岐栓をつける方法



- ①SHDアダプター (G1/2) 1個 (別売 p.21参照)
②浄水器用分岐栓

浄水器用分岐栓は水栓の種類によって異なります。すでに浄水器用分岐栓がついている場合は、SHDアダプター (別売 p.21参照) が必要となります。

※分岐栓が取り付けできないタイプの水栓もあります。

注意!

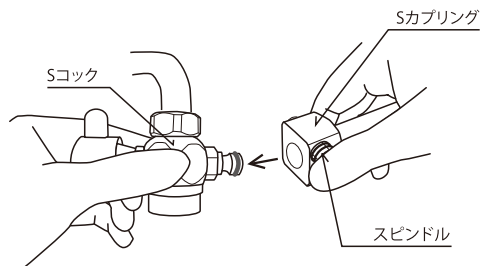
分岐栓は水分岐のためのため、お湯による洗浄 (バックウォッシュ) を行う際に、お湯の出る水栓が必要です。洗浄殺菌 (バックウォッシュ) の方法はp.16を、必要な別売取付部品は、p.21を参照してください。

2. S コックとハーレーⅡ 本体のシリコンホースをつなぎます (下図参照)

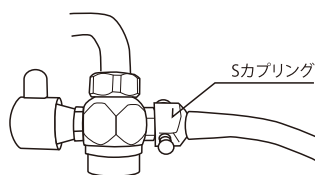
S カプリングの着脱のポイント

< 取り付け方 >

- ① S カプリングのスピンドルを押しながら、しっかりと奥まで押し込みます。

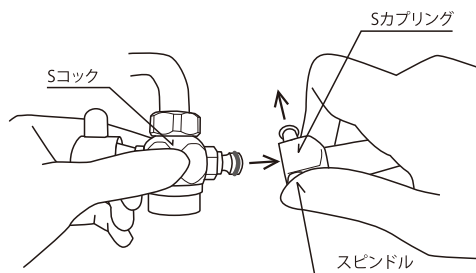


- ② 指を離すと、スピンドルが戻ってきて取り付け完了です。スピンドルが戻ってこない場合は、カチッとロックされるまで差し込んでください。

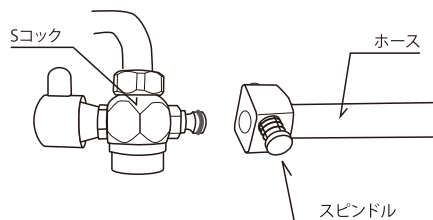


< 取り外し方 >

- ① スピンドルを押しながら、S カプリングを引き抜きます。



- ② スピンドルから指を離せば、取り外し完了です。



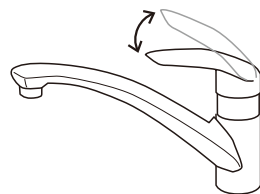
3. 初めての通水 – 水を通してみましょう

①Sスパウトのノズルをシンクに向けます。(Sスパウトは360°回転します。)

②水を出します。

注意!

レバー式水栓の場合、水量調節のためのレバーの上げ下げをゆっくり行ってください。極端な操作によってハーレーⅡ本体や水栓本体にも過度の水圧がかかり、水漏れの原因となる場合があります。

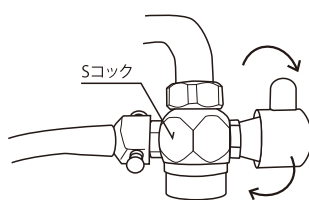


③ゆっくりとSコックの白いつまみを回して、浄水に切り替えます。

ポイント!

浄水の水量調節はSコックのつまみで行ってください

④最初の水が出てくるのに36.5秒程時間がかかりますので、お待ちください。
活性炭と水をなじませるため、そのまま5分以上通水してください。



水道水と浄水の切り替え・水量調節のふたつの機能をひとつのつまみでスムーズに行います。

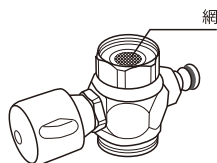
◇浄水の量は1.4～6ℓ/分に調節できます。

※水量は水圧により多少異なる場合があります。

※通常通り、水栓のハンドルでも水量調整は可能です。

Sコックには水道管などから流れてくる固形物が部品の中に入らないよう、網が入っています。水道水や浄水の出方が少なくなったと感じたら、Sコックを外して網についている固形物を取り除いてください。

(Sコック内のOリングの交換方法は、p.20を参照してください。)



※吐水口を低くしたい場合はSロングスパウト25cm(別売 p.21参照)をつけられます。

初めて水を通す場合には、以下のような現象が起こる場合があります。

①水に黒い粒が混じって出てくる場合がありますが、これは活性炭の粒子です。しばらく通水するとなくなります。

②温かい水が出る場合がありますが、これは活性炭と初めて通る水との摩擦熱によるものです。しばらく通水するとなくなります。

③浄水を沸かしたら白く濁る場合があります。

活性炭の製造工程で熱い蒸気での処理の際に、水に含まれるカルシウムが活性炭の表面に付着します。

活性炭はミネラル分(カルシウム)を吸着しないため、初めて通水した時に浄水と一緒にカルシウムが出てきます。従って、沸かしたり凍らせたりすると白く濁る場合があります。しばらく通水するとこの現象はなくなります。

上記の現象が、なかなかなくなる場合は、お湯を通水させる**洗浄殺菌(バックウォッシュ)**を20分間行ってください。

洗浄殺菌（バックウォッシュ）の3つの目的

洗浄殺菌（バックウォッシュ）は1週間に1回行ってください。

以下の3つの効果で約7年間高性能を維持します。

1 殺菌効果

約60℃のお湯を5分以上通水し、15分間放置し蒸らすことで本体全体を殺菌することができます。

2 性能回復効果

活性炭に吸着されたトリハロメタン・農薬・合成洗剤・ダイオキシン等の有機化学物質は脂溶性（親油性）です。例えば、食器の油汚れが水よりお湯で取れるように、活性炭表面の汚れもお湯で洗浄されます。

活性炭一粒ずつの完全な再生ではありませんが、活性炭全体の性能が回復されます。

3 目詰まり防止効果

ハーレーⅡの下部のフィルターで水道水中の浮遊物や水道配管の汚れを除去します。

お湯で逆流することにより溜まった汚れを排水と一緒に洗い流し、目詰まりを防止します。

活性炭による吸着除去の理論

有機化学物質は、分子レベルで水に溶解しています。^{たこうしつ}多孔質（非常にたくさんの小さな穴の空いた状態）の物質である活性炭が分子間の引力で磁石のように引っ張り、微細な孔に有機化学物質を吸着します。これがハーレーⅡの活性炭による吸着除去なのです。

一方、カルシウムなどのミネラルはイオンとして存在するため、活性炭には吸着されないため、水中に残ります。

バックウォッシュの理論

ハーレーⅡが高性能を7年間維持できる秘訣は、お湯を通して洗浄するバックウォッシュにあります。

水は温度が高くなると水分子の動きが活発になり、100℃に達すれば沸騰して蒸発します。

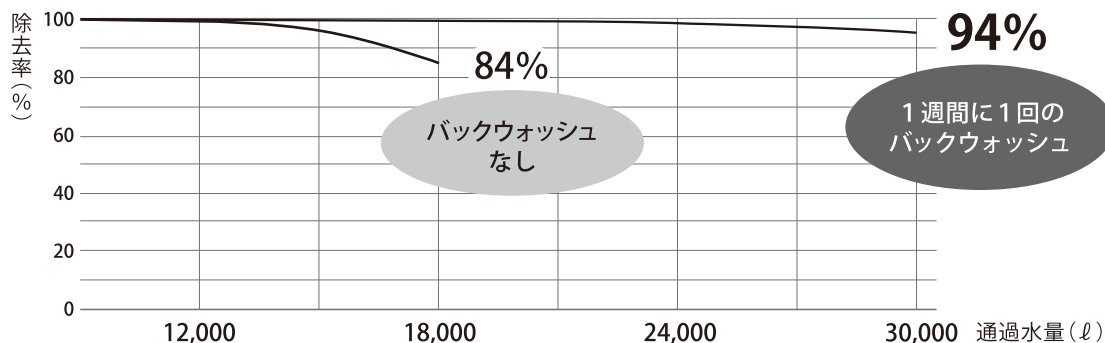
水の時とは活性炭に吸着されていた有機化学物質は、お湯だとエネルギーの高くなった水分子のほうに強く引っ張られて（物質が溶けやすくなる）、活性炭表面の汚れ（孔をふさいでしまう汚れ）を洗い流すことができます。

ハーレーⅡは、接着剤・粘結剤・界面活性剤・防腐剤・抗菌剤を使用していないため、それらの化学物質が溶け出す心配がないのでお湯を通すことができます。

性能維持のために1週間に1回のバックウォッシュを行ってください。

■洗浄殺菌（バックウォッシュ）の効果

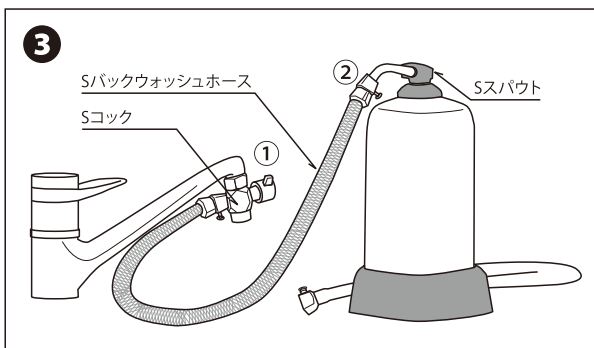
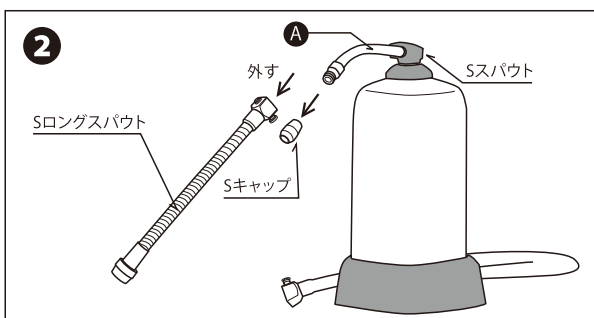
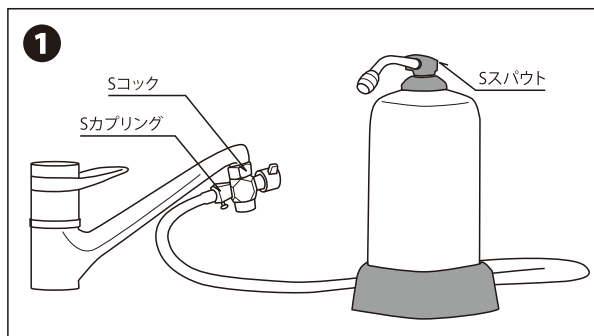
トリハロメタン除去データ 【1週間に1回バックウォッシュした時としない時の比較】



測定：財団法人日本食品分析センター

洗浄殺菌（バックウォッシュ）の方法

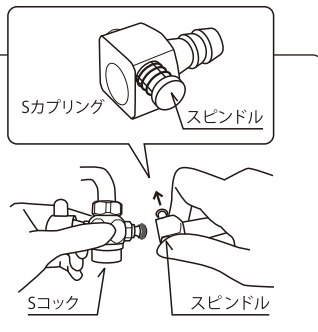
給湯器の場合 ■洗浄殺菌（バックウォッシュ）は、1週間に1回行ってください。



蛇口のSコックから、ホース先端のSカップリングのスピンドルを押しながら外し、シンクに置きます。

ポイント!

スピンドル（バネ式の接続部分）を押しながらSカップリングを引き抜きます。



ハーレーⅡのSスパウトから、SキャップもしくはSロングスパウトを外します。

ポイント!

Sスパウトのパイプ部Aを手でおさえながら外してください。

Sバックウォッシュホースを蛇口のSコック(①)とハーレーⅡのSスパウト先端(②)につなぎます。

ポイント!

Sバックウォッシュホースはスピンドルを押しながら奥まで押し込み、押したスピンドルが完全に戻れば接続完了です。差し込みが浅いと抜けてしまうのでご注意ください。

給湯温度を60℃にセットします。Sコックを全開にします。水栓でお湯になるように水量を調節してください。

注意!

通水量は、お湯になる最小水量で行ってください。

ポイント!

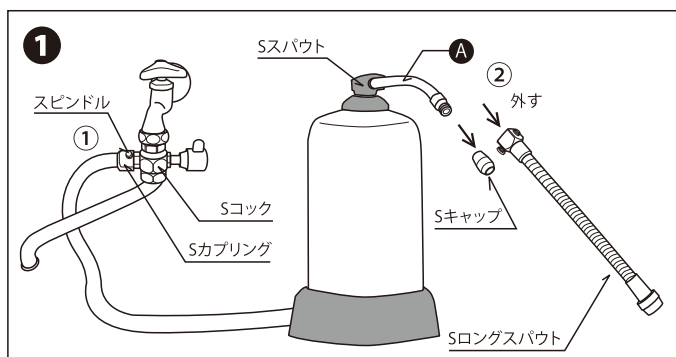
給湯システムによってSコックを全開にしないとお湯にならない場合がありますので、洗浄殺菌（バックウォッシュ）はSコックを全開にしてから行ってください。

お湯を5分以上通水します。お湯を止めた後、15分間放置してください。放置する事で蒸らされ殺菌できます。

洗浄殺菌（バックウォッシュ）後の使い方はp.16へ

洗浄殺菌（バックウォッシュ）の方法

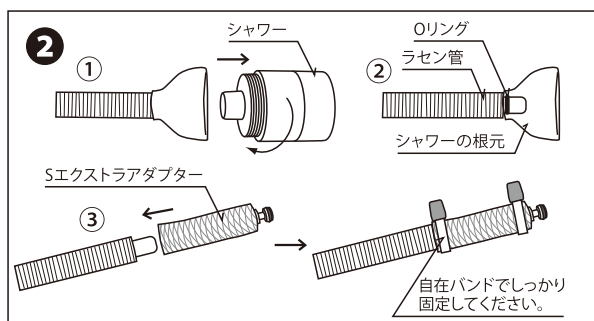
小型瞬間湯沸器の場合 ■洗浄殺菌（バックウォッシュ）は、1週間に1回行ってください。



- ① 蛇口のSコックから、ホース先端のSカップリングのスピンドル（バネ式の接続部分）を押しながら外し、シンクに置きます。
- ② ハーレーⅡのSスパウトから、SキャップもしくはSロングスパウトを外します。

ポイント! Sスパウトのパイプ部Aを手でおさえながら外してください。

注意! 湯沸器のラセン管先端で点火・消火するタイプは、お湯による洗浄ができません。

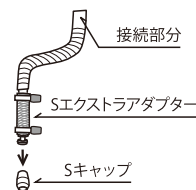


湯沸器の先端にSエクストラアダプターを取り付けます。

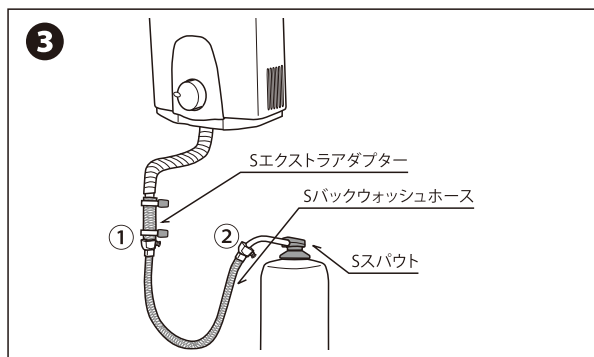
- ① 先端のシャワーを回して外します。
- ② ラセン管の先端のOリングを取り外すとシャワーの根元も取れます。
- ③ Sエクストラアダプターを取り付けます。

ポイント!

Sエクストラアダプターを湯沸器に接続したまま使用する方法があります。ラセン管と本体の接続部分が着脱によって摩耗する場合がありますので、Sキャップ（別売 p.21参照）をつけてご使用ください。バックウォッシュ時は、Sキャップを外してお使いください。



SバックウォッシュホースをSエクストラアダプター（湯沸器先端①）と、ハーレーⅡのSスパウト先端（②）につなぎます。（Sバックウォッシュホースの取り付け方はp.14③のポイント参照）



給湯温度を高温（60℃程度）にセットします。お湯を5分以上通水します。お湯を止めた後、15分間放置してください。放置する事で蒸らされ殺菌できます。

注意!

小型瞬間湯沸器を使用する場合は、必ずその使用方法に従い、十分に換気を行ってください。

通水量は、お湯になる最小水量で行ってください。



洗浄殺菌（バックウォッシュ）後の使い方はp.16へ

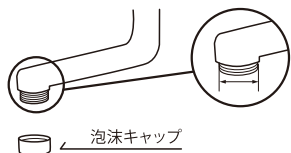
台所でお湯が使えない場合、浴室などお湯の出る蛇口に別売取付部品をつけて、洗浄殺菌（バックウォッシュ）することができます。（バックウォッシュの手順は、p.14の手順と同様に行ってください。）

注意!

通水量は、お湯になる最小水量で行ってください。

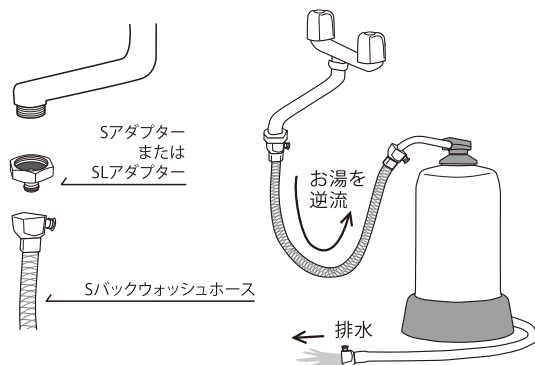
水栓の蛇口先端に部品を取り付ける場合

- ①蛇口の先端の泡沫キャップを外し、ネジの外径を測ってください。



- 外径22mmの場合
Sアダプター（別売 p.21 参照）が取り付けできます。
- 外径26mmの場合
SLアダプター（別売 p.21 参照）が取り付けできます。

- ②蛇口先端にSアダプターまたはSLアダプターを取り付けます。
③バックウォッシュホースを接続します。



<蛇口先端のネジがプラスチックの場合>

部品の取り外しによってネジ山が摩耗してしまう場合があります。

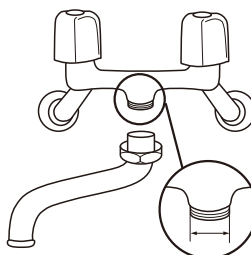
SアダプターまたはSLアダプターに取り付けたまま使用する事をお薦めします。

※飛散防止のため、先端にSキャップ（別売 p.21参照）の取り付けも可能です。



水栓の蛇口根元に部品を取り付ける場合

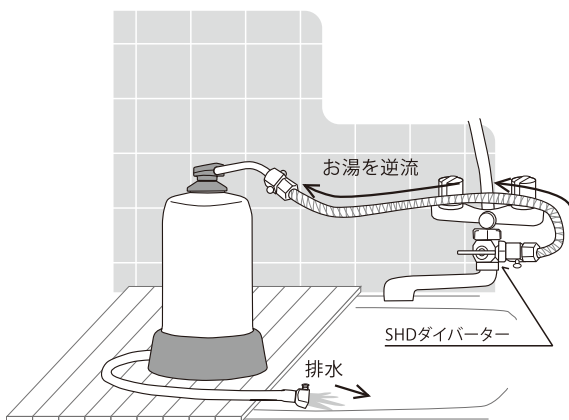
- ①水栓のパイプを外し、ネジの外径を測ってください。



ポイント! パッキンの確認
パイプには、水漏れしないようにパッキンがついています。水栓から外した時、パイプにパッキンがついているか必ず確認してください。残っている場合は、外してください。

- 外径26mmの場合
そのままSHDダイバーター（別売 p.21参照）をつけます。

- ②SHDダイバーター（別売 p.21参照）を取り付けます。
③Sバックウォッシュホースを接続します。



洗浄殺菌（バックウォッシュ）後の使い方

- ・お湯の通水中や通水直後は本体や部品が熱くなっておりますので、お取り扱いに注意してください。
- ・洗浄殺菌後すぐに使いたい場合は水を通水させて本体を冷まします。
このとき本体内部の熱いお湯がしばらく出ますのでご注意ください。
- ・常温の水が出るようになりましたらご使用ください。

災害時などに断水した場合、復旧するまでの約3日～7日程度までの目安でご使用ください。その後は、お湯で洗浄殺菌（バックウォッシュ）してから、ご使用ください。

お風呂の水やプールの水、井戸や川の水からでも、緊急時に飲料水を作る事ができます。濁った水などを浄水する場合は、汲み置きして固形物が容器の底に沈んでから上澄みを使用してください。極端に汚濁した水は、原水に適しません。

■飲料水として使用する場合の殺菌方法

① 浄水してから殺菌する場合

通水後に、水を煮沸してから飲料用にご使用ください。

② 浄水する前に殺菌する場合

まず、殺菌のため原水に塩素（次亜塩素酸ナトリウム）を加えて殺菌してください。アウトドア用、海外旅行用の飲料水殺菌剤や、市販の次亜塩素酸ナトリウム入りの漂白剤で代用できます。確実な殺菌のために、規定の量より少し多めに入れてください。投入した飲料水殺菌剤・塩素は、ハーレーⅡを通すと完全除去されます。

漂白剤投入濃度の目安

一般的な漂白剤の次亜塩素酸ナトリウムの濃度は約5%です。
1ℓの水に対して1滴（1mℓ）を入れると、約5ppmの塩素濃度となります。
水道水の法定濃度最低基準は、0.1ppmとなっていますが、非常時ですのでそれより濃度を上げて殺菌することをお薦めいたします。

■使用方法

注水口をハーレーⅡ本体より高くするだけでその落差水圧によって浄水する事ができます。

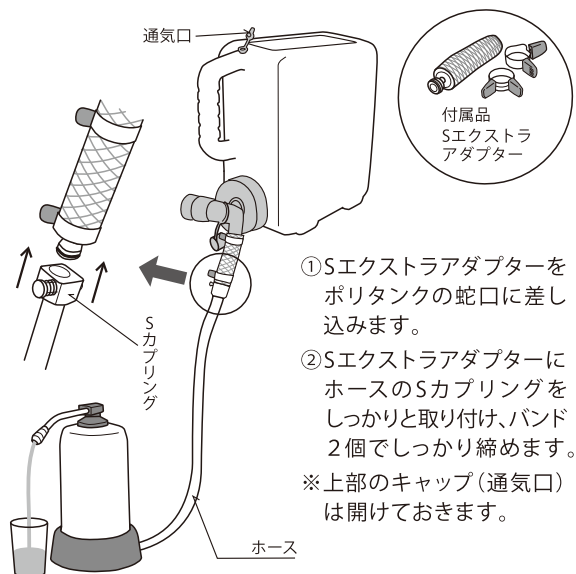
落差水圧に使用できる付属品は、ろうととSエクストラアダプターがあります。

ポイント! 落差水圧によって浄水器に水を送るため、ホースの長さが必要です。できるだけ、短く切らずにご使用される事をお薦めいたします。（ホースの長さ：80cm）

ろうとを使って



ポリタンクを使って



お手入れ方法

- 本体は、やわらかいスポンジや布で拭いてください。

ポイント!

毎回の洗浄殺菌（バックウォッシュ）時に乾拭きするとよりきれいに保てます。
その際は、ゴム手袋をするなどして火傷にご注意ください。

- 本体の取れにくい汚れは、石鹼もしくは洗剤を使ってください。
- シリコンホース表面の汚れは、石鹼もしくは洗剤で洗ってください。

※シリコンホースは安全のため防カビ剤は一切使用していませんので、ホースの表面にはカビが発生する場合があります。ホースは二重構造になっているので、ホースの内側までカビが侵食する事はありません。また、ホースの内側は週に1度のバックウォッシュ時にお湯で洗浄されるので、カビが発生することはありません。

※カビの発生を防ぐために、ホースはいつも濡れたまま放置しないよう、汚れなども乾いたふきんでこまめにふき取ってください。表面に発生したカビは石鹼や洗剤で洗ってください。

- 長期間（1ヶ月程度）使用しない場合は、60℃のお湯を5分間通水して洗浄殺菌後、シリコンホースをSキャップを外したSスパウトに差し込んだまま保管します。お使いになる前には、もう一度洗浄殺菌（バックウォッシュ）をしてください。その際5分間通水ではなく20分程度行ってください。

注意!

1ヶ月以上通水せず使用しなかった期間がある場合は、ろ材交換をしてください。完全に水を抜いた状態で長期間使用しなかった場合、中の活性炭が固まってしまう除去能力がなくなります。その場合はろ材交換をおすすめします。ご不明点があればお気軽にお問い合わせください。



ろ材交換品（リハビッシュ品）について

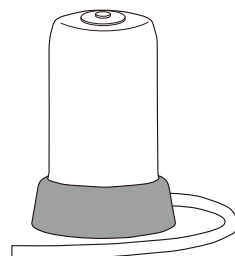
ろ材交換品は、本体ホース以外の部品は付属していませんので、現在ご使用中の部品を再利用してください。使用済のハーレーⅡは当社で回収し、本体ステンレスSUS316Lと活性炭など、素材ごとに再資源化いたします。お手元に届きましたら、ご使用中のハーレーⅡの部品を利用し取り付けてください。

※交換方法、消耗品のOリングも付属しています。なお、使用済の本体は同梱の着払伝票にてご返送をお願いいたします。交換方法などご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

交換時期は、約30,000ℓ通水後（1日約11ℓ使用するとして約7年後）が目安です。

※交換時期はご使用になる水量・水質によって異なります。

Oリングなど消耗品や、付属部品は単品でのご購入も可能です。
フリーダイヤル0120-132-802までお問い合わせください。



ろ材交換品

「故障かな？」と思ったら

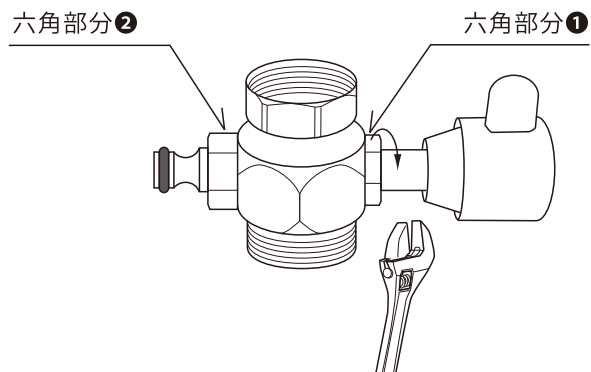
以下のような症状が発生した場合は、該当項目を参照してください。

症 状	原 因	対 策
洗 浄 殺 菌（バックウォッシュ）時に給湯器が点火しない	水量が少ない可能性があります。	Sコックを全開にし、水栓で水量調節をしてお湯を流してください。
Sコックと蛇口の取り付け部分から水が漏れる	Sコックが蛇口へ確実に取り付けられていないか、パッキンが正しく入っていないか、または、蛇口先端の断熱キャップが傷んでいる可能性があります。	本書（p.6～9）を参照のうえ、パッキンを正しく入れて取り付けてください。 または断熱キャップを交換してください。
Sスパウトと本体の間から水が漏れる	Sスパウトがゆるんでいる可能性があります。	Sスパウトをしっかりと締めてください。
SスパウトとSバックウォッシュホースの間から水が漏れる	Sスパウトの先端のOリング（中）が消耗している可能性があります。	Oリング（中）を交換してください。
Sコックと接続部品のSカップリングの間から水が漏れる	SコックのOリング（中）が消耗している可能性があります。	Oリング（中）を交換してください。
浄水量が少なくなった	洗浄殺菌（バックウォッシュ）をしっかりと行っていないか、水質が原因で目詰まりを起こしている可能性があります。	洗浄殺菌（バックウォッシュ）を1週間に1回、必ず行ってください。場合によっては、早めのろ材交換（リハピッシュ）をお勧めします。
Sコックで水道水・浄水を切替しても両側から水が出る	Sコック内部のOリング（中）が消耗している可能性があります。	Oリング（中）2個を交換してください。（p.20参照）
使い始めの浄水に黒い粒が混じっている	p.12を参照してください。	p.12を参照してください。
電気ポットに入れた浄水が白く濁った		
使い始めに温かい水が出た		

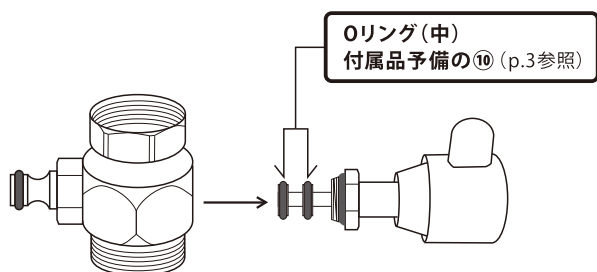
※部品が長年の使用で金属疲労や経年劣化した場合、交換をお勧め致します。

Sコック修理方法

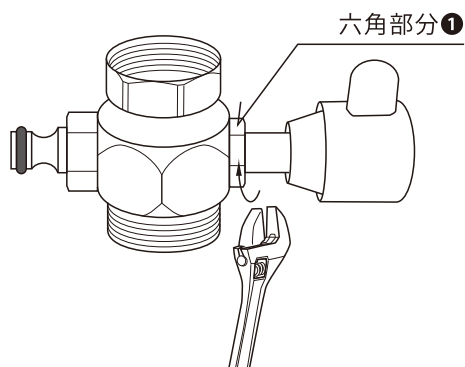
水道水中および配管中の鉄・サビ・砂利等の影響でSコック内のOリングが摩耗し切替不良等が起る場合があります。その際は、Oリング(中)を交換する事により再度ご使用いただけます。



- ①左図のように六角部分①をスパナ等で時計の針と反対方向に回し、ネジを外します。外れにくい場合は、六角部分②を他のスパナ等で固定し、六角部分①を上記と同様に回します。



- ②溝に入っているOリング(中)を2個交換してください。

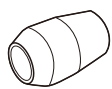
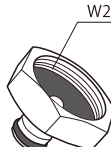
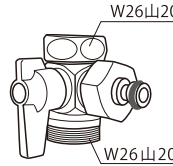
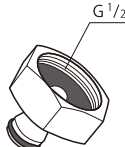
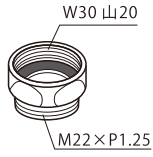
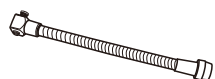


- ③左図のように六角部分①をスパナ等で時計の針と同じ方向に回し、ネジを元に戻します。

※蛇口に断熱キャップ(プラスチック)がついている場合は、Sコックを蛇口から取り外してスパナを2本で使用ください。

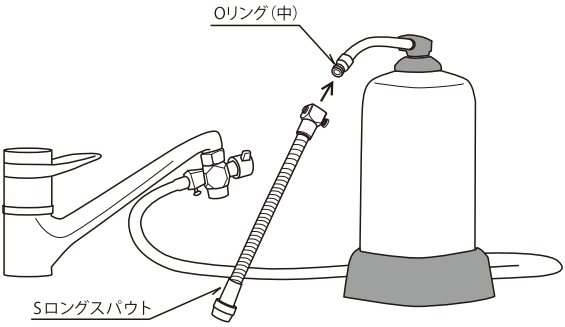
ホームセンターなどでもご購入いただけます。

市販品	JIS規格サイズ
Oリング(中)	P-7

Sキャップ  Sアダプター、SLアダプター、Sエクストラアダプターの先端につけます。	Sアダプター  M22×P1.25 バックウォッシュホースを蛇口の先端につける場合のアダプター。	SLアダプター  W26山20 バックウォッシュホースを蛇口の先端につける場合のアダプター。	SHDダイバーター  W26山20 W26山20 バックウォッシュホースを水栓の根元につける場合の切り替え部品。	SHDアダプター  G 1/2 専用栓を新設する場合のジョイント部品。
外ネジ用アダプター  ・インチ(グローエ・ヤンマー)(XL-1)	内ネジ用アダプター メーカー別・種類別にあります。  ・インチ(グローエ・ヤンマー長)(XL-52) ・ケイブイケイ(XL-3) ・ミズタニ(XL-20) TOTO、リクシルは市販品の ・サンエイ:PT35-5 または ・カクダイ:791-416で 代用できる場合もございますので、お問い合わせください。	根元用アダプター (蛇口サイズ20mm)  W30 山20 M22×P1.25	Sロングスパウト25cm  吐水口の位置を下げたい 時に使用する部品です。 Oリング(中) 8個 Sコック、Sスパウト用 	

水の出てくる位置(吐水口)を低くしたい場合

水の吐水口を低くしたい場合は、別売の
Sロングスパウトをつけられます。



■本体仕様

製 造 元	ハーレーシカゴ社(米国)
本 体	316Lステンレス
ろ 材	グラニューラ活性炭・不織布フィルター
重 量	2.3kg
サ イ ズ	直径16.9×高さ29.3cm
ろ 過 流 量	1.4ℓ／分(飲み水用・料理用)～6ℓ／分(料理の下ごしらえ・洗い物用) ※水量は水圧により多少異なる場合があります。
ろ 材 交 換 時 期	約30,000ℓご使用後(1日約11ℓ使用するとして約7年後) ※交換時期はご使用になる水量・水質によって異なります。

※製品の仕様および取扱説明書の内容は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

MEMO

[illegible]

◇製品保証書◇

製 品 名		浄水器ハーレーⅡJE		
保 証 番 号		JE	購 入 日	年 月 日
お 客 様	氏 名			
	住 所			
販 売 店	店 名・住 所			
	電話 () -			

保証規定

本書は保証期間内に取扱説明書等の注意書にしたがって、正常な使用状態で万一故障した場合には保証規定に基づき、無償修理をお約束するものです。

保証期間は、購入日より1年間です。保証期間内でも、次の場合は保証対象外となり有料となります。

- ①取扱上の不注意、通水後の長期間におよぶ放置や洗浄殺菌（バックウォッシュ）を行わなかった場合
- ②使用上の誤りおよび不適切な取り付け、修理、改造を行った場合
- ③給水・給湯設備や地下水などの水質に原因がある故障、または性能の低下が発生した場合
- ④ハーレーⅡ以外の機器に故障原因がある場合
- ⑤購入後の落下・輸送などによる故障および損傷が生じた場合
- ⑥火災・地震・水害・その他の天災地変による故障および損傷
- ⑦正規販売店以外で購入した場合
- ⑧当社以外の輸入業者の取扱製品
- ⑨国外で使用的場合

修理・検査について

保証期間を経過後の修理・検査は販売店または弊社までお問い合わせください。

返品について

お届け製品に不具合がある場合、もしくはご注文内容と異なる場合は、製品到着後7日以内に下記までご連絡ください。ただし、以下の場合の返品・交換はお受けできませんので、ご了承ください。

- 一度使用された製品 ●お客様のご都合で傷・破損が生じた製品



Research for Human Life Science.

～Living in Comfort～
快適で心地よい生活をご提案しています。

日本正規輸入総発売元
株式会社 アール・エッチ・エス

0120-132-802

153-0042 東京都目黒区青葉台 4-4-25-2F
phone:03-6407-2351 fax:03-6407-2350
<https://www.rhs.co.jp>

2022.09

不許複製 著作権者 R.H.S.Co.,Ltd.